

3

企業からのメッセージ

～平成22年度 均等・両立推進企業表彰受賞企業～

■ 平成22年度 均等・両立推進企業表彰 長野労働局長優良賞受賞

オルガン針株式会社

業種：製造業
労働者数：463人



企画管理本部人事課 課長 廉澤輝樹さん

■ 自社での女性の活躍推進に向けた考え方、取組

[女性が支えるオルガンブランド]

当社は、2020年に創業100年を超える総合針メーカーです。アパレル産業を根底から支え続けてきた高い品質と技術力の証である「オルガンを弾く婦人」のマークは、これからも常に皆様に愛され続けるブランドでありたいと考えています。このオルガンブランドを支える従業員の約3割は女性であり、その定着率は非常に高い状況にあります。これは、全ての従業員が持てる能力を最大限に発揮し、長く働き続けられる労働環境を構築することを目指してきた成果であると自負しています。

[皆で理解し支えあう職場環境づくり…「くるみんマーク」の取得]

「全ての従業員が長く働き続けられる労働環境の構築」には、まずは女性従業員が働きやすい環境を整備していくことが重要であると考え、これまでの育児・介護休業のほか各種支援制度を充実させてきました。さらに育児や介護が「女性の役割」に留まることがないように、皆で理解し支えあう職場環境づくりに取り組んでいます。一人一人の生活を大切にしたい、これらの取組が平成22年度「くるみんマーク」の取得に繋がりました。

また平成23年度「社員の子育て応援企業長野県知事表彰」を受賞し、仕事と子育てや介護などの家庭生活を両立しながら働くことのできる、働きやすい職場環境づくりを推進しています。

[女性の活躍を促進…オルガン女性会議の発足]

働きやすい環境の整備とともに、女性が活躍できる場の拡大を目指し“ポジティブ・アクション”にも取り組んでいます。その一つとして、2008年に女性の管理監督者の増員を目的とした「オルガン女性会議：Wベリープロジェクト」を発足しました。会議メンバーは年齢・職場等が様々で、育児中の女性も参加しています。月1回の定例会議や従業員アンケートの実施、各種制度の勉強や提案活動を行っており、活動への参加そのものが活躍の場に繋がっています。

[個人の能力を尊重…職域拡大等のキャリア開発を拡充]

当社では、すべての職種において性別を問わずに採用をしており、研究職や開発職を始めとした専門職への女子学生の採用も珍しいことではありません。入社後のスキルアップ、個人の意欲や適性などを尊重した職域拡大や、職群選択等のキャリア開発の機会もあります。また、学生から社会人になり緊張が抜けない入社後1年間は、メンター制度による支援を行っています。これらの取組の成果として2010年度「均等推進企業部門長野労働局長優良賞」を受賞いたしました。

■ 活躍している女性の紹介

[SCMグループ 営業事務チーム 主事補 I.Nさん 35歳]

学生時代に学んだ外国語やドイツへの留学経験を活かし、SCMグループ営業事務チームの主事補

(係長)として活躍しています。結婚、出産、育児休業を経て、現在は職場の仲間や家族の支援を受けながら育児短時間勤務制度の利用により「仕事と家庭、育児」を両立しています。

[台湾風琴針貿易股份有限公司 董事総経理 M.Nさん 35歳]

台湾における針の販売拠点の最高責任者として活躍しています。語学力・統率力を発揮して現地スタッフを統括し、台湾のみならず中国にも出張して、新規顧客の獲得や販路開拓に大きな功績を納めています。

[製品研究課 H.Sさん 28歳]

「自らが開発した針に自分の名前をつける」ことを目指して、製品研究課で活躍しています。他の研究者とともに、製品の品質調査や改良テストなどに取り組んでいます。

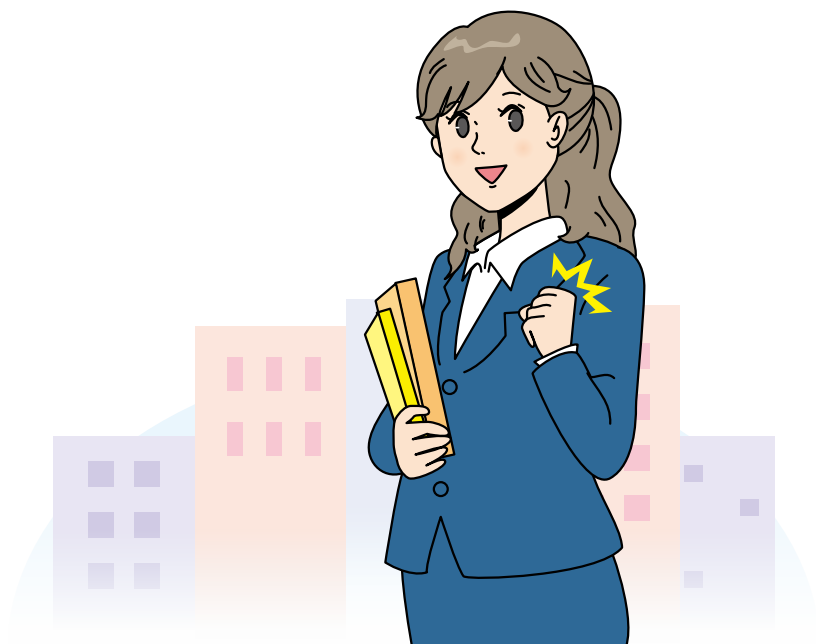
■女子学生へのメッセージ

[自分の可能性を追求し、成長への意欲を持ち続けてください]

当社が製造販売している「針」は「衣食住」のすべての場面で使用されていることをご存知でしょうか。最も身近な「衣」に始まり、「食」においては穀物運搬用の袋の縫製、「住」においては畳・絨毯・車の内装など、数々の場面に「針」が活躍しています。

市場にあふれる様々な製品を創り出すために、どんな企業のどんな製品が使用されているのか、皆さんには広い視野と探究心を持って、自身の活躍のフィールドを広げていただきたいと思います。

そして、どんなときでも個人としての輝きを忘れることなく、自分自身の可能性を追求し成長していく意欲を持ち続けてください。



■ 平成22年度 均等・両立推進企業表彰 奈良労働局長優良賞受賞

株式会社呉竹

業種：製造業
労働者数：約230人

総務部総務経理チーム サブリーダー 大島沙織さん

■ 自社での女性の活躍促進に向けた考え方、取り組み

呉竹の提案する商品は、書道をはじめ、絵てがみ、スクラップブックなどの分野で使われており、商品をお使いいただいているお客様の9割が女性であるためか、新卒採用においても女子学生から多くのご応募をいただいています。現在の女性社員の年齢層は、30～34歳の層が最も多く、キャリアを積んだ女性が結婚や出産を控えています。そうした女性社員が退職という選択をせず、続けて働きやすい環境整備が必要となり、ポジティブ・アクションやワーク・ライフ・バランスに取り組みました。

呉竹の女性が活躍してきた背景にあるのが8年前から導入している成績評価制度です。年4回、直属の上司と面談を行い、目標達成に向けてその進捗や課題などをじっくり話し合っています。一人一人の成績については、こうしてプロセス面と成果面の両面からアプローチし、仕事のプロセスを重視して評価します。男女も年齢も関係なく評価され、年俸に反映します。

また、成績評価制度において一人一人に、チャレンジ目標というのがあります。それには、「税理士」や「MBA」、「社会保険労務士」といった資格取得など、資質向上の目標を掲げています。社員が自費で学校に通学する費用を半額支給する制度として「社内補助金制度」があります。年間10名前後の社員が利用しています。

さらに平成20年には、仕事と育児の両立を支援すべく事業所内託児所を設置しました。生後3カ月から満6歳の年度末までの従業員の子どもの預かっています。専属の保育士により少人数制の手厚い保育を心がけており、食物アレルギーの子どもにも対応しています。その結果、育児休業に関しては現在100%の利用率で、全員が職場復帰を果たしています。また育児のための勤務時間短縮制度の充実化を図り、現在は3歳未満より小学校就学前までに延長しています。

また平成21年から18時までの退社運動を実施し、時差出勤の導入も含めた勤務時間調整を行い、残業ゼロの体制が確立しました。社内全体が残業・業務効率化に対する認識も変わってきています。

■ 活躍している女性の紹介

現在2名の女性を営業部に配置しています。以前は営業部の女性はゼロでしたが、平成15年から営業業務やマーケティングにおいてキャリアを積んだ女性を「ラウンダー」として教育し、新しい職種を立ち上げました。リテールサポート(小売店を回り、売り場の提案などを行う)から教育し、今では担当を持つまでになり、女性ならではの丁寧な営業活動を行い、個々の売上目標を達成しています。

また育児休業を取得し、事業所内託児所に子どもを預けて原職復帰した女性社員のうち、2名が1年～2年後にサブリーダーに昇格しています。さらに外部の女性リーダー研修には、リーダー候補となる女性社員に受講させており、こうした教育体制も整えています。

■ 女子学生へのメッセージ

社長の理念にもありますが、「人を大切に」の精神のもと、呉竹は、社員の働きやすい職場づくりに積極的に取り組み、人材力の強化を目指しています。呉竹には育児をしながら働ける環境があります。安心して仕事に専念でき、さまざまなことにチャレンジできる体制を整えています。男性も女性も年齢も関係なく、「はい!」と手を挙げ、どんどん積極的に仕事に取り組んで、自らスキルを磨いていき、「プロ」として活躍することを期待しています。